

あすりーと高岡

第17号



第55回 国民体育大会

あいの風・夢のせて

2000年とやま国体

夏季大会 9月9日(土)～12日(火)

秋季大会 10月14日(土)～19日(木)



2000年国体大会旗・炬火リレー走者リレー隊



夏季大会・開会式
／富山県高岡総合プール



秋季大会・バドミントン競技 成年男子 今井・大山組



成年男子バドミントン競技
優勝したトナミ運輸チーム

とやま国体 特集号

水泳飛込競技は環境によって育つ

高岡商業高校 清水 國重

富山県では前回の富山国体以後、全国大会での実績も乏しく競技人口も減少するばかりであったが、二〇〇〇年とやま国体で活躍できる選手の育成のため、平成五年より本格的に選手強化の見直しを図った。平成六年より富山県高岡総合プールでの練習も可能となり、高岡での強化の中心として高岡ダイビングクラブを設立し、夏休みに短期教室などを開催して飛込競技の普及および人材発掘に取り組んだ。やがて高岡ダイビングクラブの選手の数も少しずつ増え、北信越大会では入賞する選手もでてきたが全国大会となると予選を突破することが困難であった。平成七年から国内外の優秀な指導者や選手の方々を招聘しての強化練習会や県外への遠征合宿を積極的に行い、全国大会の決勝へ進むまでに競技力が向上してきたが、依然として入賞まであと一步というところであった。

しかし平成八年に坂田芳寛、また平成十年には向井智子といった社会人選手が加わるによりジュニア選手たちがよい刺激を受け、平成十二年には高岡ダイビングクラブの増山香織が富山県のジュニア選手としては初めて関西選手権で社会人選手や大学生をしりぞけて三位入賞を果たした。さらに施設の面でも富山県高岡総合プールに飛込用陸上練習設備及び屋外飛込プールの夜間照明、さらに富山県総合体育セ

ンターに室内の飛込プールが完成し、それまで不足していた冬期の水上練習やシーズン中の練習内容が飛躍的に向上することとなった。



少年女子高飛込 増山選手

二〇〇〇年とやま国体では、増山が全国大会で初めての入賞となる少年女子高飛込三位、飛板飛込七位入賞を果たした。藪山田匡人は国体初出場ながら少年男子飛板飛込十三位、高飛込は惜しくも十四位という結果であったが、将来入賞の期待がもてる演技内容であった。向井は、成年女子高飛込で昨年の熊本国体に続き二連覇を目指したが、三位という結果に終わった。しかし飛板飛込では本来の集中力を取り戻し、競技生活最後となる試合を大満足の演技で締めくくり非常にうれしい優勝となった。開会式で選手宣誓を行った坂田は、成年男子飛板飛込で念願の初優勝を果たした。坂田は安定した空中演技と鋭い入水で次々と高得点を重ね、自己最高の四〇三・〇八点というすばらしい演技内容で接戦を制し、チームに活力を与えてくれた。高飛込でも八

位入賞を果たした。以上の競技成績により飛込競技の総合得点で富山県は二位という結果を残すことができた。これも選手個人の努力と彼らのために多大な協力をしていただいた方々のおかげだと大変感謝しています。また天候の悪し中、大会運営のために大変な苦勞をされた関係者の方々にこの場をかり

ジュニア育成は協会ぐるみ

バドミントン協会

理事長 京田 和男

高岡市バドミントン協会では、平成四年からいち早くジュニアバドミントン教室を開催し、小学生にはバドミントンの楽しさを、中学生には技術・精神のレベルアップを図りました。平成七年からは協会内にジュニア強化部を組織し、選抜した小中学生二十名をジュニア強化選手に指定するとともに、二〇〇〇年国体強化専任コーチを十一名委嘱し、六年後の国体を担う選手の育成を合言葉に指導に当たりました。

とやま国体の少年男子三人の選手の中に、南星中学校一年生の時に指定選手となり、以来一日も休まずに練習に励んだ高岡工芸高校三年の川口佳介君が選考されたことは、本人が国体という大きな目標に向かって努力したことは勿論のこと、専任コーチの地道な指導のお陰と感謝しています。

さて、本番の国体での少年男子は順調に勝ち上がり、準決勝で強敵青森県と対戦しました。川口君が出場したダブルスは第三ゲームまでもつれました



少年男子 川口・劉選手組

が、最後まで気迫あふれるプレーで勝利を収めました。私はその瞬間、体が熱くなりこれまで専任コーチが長年指導してきたことが報われたという思いと、川口君がケガと闘いながらよくここまで頑張ってくれたという思いで胸がいっぱいになりました。今もあの時の感動は忘れることができません。私達がジュニアの強化を図ってきた六年はあつという間に過ぎましたが、今後もこれまで同様ジュニア育成に努めていきたいと考えています。

サッカー独自の一貫性指導

サッカー協会

理事長 谷内 浩仁

当協会は、昭和六十一年より小学生年代（４種）のトレセン活動を呉西地区では初めて開始しました。その後、平成四年に中学生年代（３種）と高校生年代（２種）、平成六年に女子（５種）の各トレセンに拡大され、強化事業として現在も日本協会の指針に沿った指導が実践されています。それは、４種からトップまでの一貫指導はいうまでもなく、それぞれのカテゴリーで

幸い、国体ではサッカー競技が本市で開催されることもあり、本協会は高岡市体育協会のジュニア対策事業を受けることとなり、その補助金に協会独自の予算をプラスしてトレセン活動に充当しました。日頃の練習の成果を確かめる評価の場として、今まであまり出来なかった県外遠征を実施し、県外強豪チームとのゲームを通して選手や指導者間の交流を深め、そこでの新しい発見をしフィードバックをする事により、競技力の向上に努めてきました。さらに、日本協会のコーチングライセンス制度が構築されたのを受け、いち早く協会独自で指導者養成のための予算を確保し、補助金制度を設けコーチ



成年女子：陸上競技場

習得しなければならぬ技術や戦術を実践し、育成や強化が図られ、将来全国的に活動できる選手や、ひいては日本を代表する選手を育て上げることが目標としています。そのためには、指導者の養成も同時に展開していかねばならず、中央から指導者を招聘し、指導者養成講習会を数年にわたり企画しました。

ングライセンスの取得に力を注いできました。本国体では、少年の部と成年女子の部に高岡で育った選手が出場し、それぞれ調子も良く我々関係者も相当期待していたのですが、残念ながら結果を残すことが出来ませんでした。しかし、4種ではコーチングライセンスを取得した情熱ある若い指導者達が台頭してきて、世代交代が確実に進んでいます。近年では、平成六年、九年の伏木高校の全国大会出場を筆頭に、平成九年にはFC高岡（4種）の全国大会出場、野村スポーツ少年団、志貴野中学、南星中学の北信越大会への出場等、十数年前まであった地域間格差がほとんどなくなりつつあります。今まで行われてきた強化策は、少なからずとも成果が現れていることは、疑う余地もありません。今後は、これまでの実績をふまえ、指導者のためまぬ研鑽と、ゆるぎない財政基盤の確立が必要となつてきます。また、クラブチームの立ち上げにより、地域の枠にとらわれず、幼稚園からトップまでの一貫指導はもとより、受験のために部活動を引退することなく、長期展望を持ってトレーニングすることにより、一層の競技力向上を目指さなければなりません。加えて、国体以後も行政や体育協会と連携を図り、強化に関する理解を得ながら、大会会場となったスポーツコアや城光寺陸上競技場の有効利用を図り邁進したいと思っています。

感動のとやま国体

ソフトテニス連盟

理事長 山本 清行

五十年に一度の二〇〇〇年とやま国体も、あつという間に終わりました。成績は、昨年の熊本国体の男女総合四位から成年男女の頑張りで総合二位となり、念願の総合優勝は次回の宮城国体以降の目標となりました。

少年男女は、平成六年のインターハイ以降、毎年育成強化に取組み、順調に伸びて岐阜インターハイである程度の成績を残すも、国体では地元の利を生かせず、残念な結果となりました。成年男女は、高岡ビックウエーブ、タカセイコー・フェアリーズの選手で優勝こそ逃したもののよく健闘してくれました。結果を出すのは難しいと痛感すると同時に、市民の皆様の力強い応援により上位の結果が生まれ、素晴らしい国体になりました。

今後は、この国体選手等が地元に着し、小・中・高校生等のジュニア選手強化に結び付け、日本のトップ選手が育つような環境作りが出来ればよいと考えています。



成年男子 山森・小峯選手組

スポーツは、小学四年生ぐらいからやるのが望ましく、ソフトテニス少年団は高岡に二つあります。団員は約百名程度所属し、子供達にソフトテニスのおもしろさ、スポーツの楽しさ等を指導して、中学、高校で花開けばよいという気持ちを基本に指導しております。木津少年団は単独ですが、高岡少年団は、二つの学校の子供しかいなかったのが現在は、七つの学校からきており、前田コートで練習を行っております。募集は下関小でしかしておりませんが、口コミで増加し指導者不足になってきました。終わりに、とやま国体も無事に終わりホッとしており、私は、施設の役員として選手にベストの状態でプレーしてもらったことを一番に考え奮闘いたしました。期間中、天候にも恵まれ、たくさんの方が会場を訪れ、成績等も含め大変感動的なとやま国体となりました。常に次元の高いレベルを追え！

レスリング・成年監督 角地山 豊

レスリング競技の開会式で前年度優勝の熊本県から返還された大会会長トロフィーを「あれは俺達、富山県が取るんだ」という信念と、「取らなければ」という責任を感じていた。それは選手達ももちろん富山県を日本一にすることを目標に日々練習に取り組んできたので同じ思いだったろう。

フリースタイルが始まり、選手達は、



フリースタイル54kg級で優勝した
戸井田選手

プレッシャーと緊張の中で一生懸命張り、成年、少年ともに初日を勝ち抜いてベスト8まで食い込んでくれた。

2日目は、初戦から厳しい戦いが強いれたが、54kg級戸井田優勝、85kg級高橋2位、63kg級佐藤3位、ほか少年も全員入賞。この勢いが、グレコローマンスタイルにもつながり、私達監督、コーチもこれなら行けるという確信が持てた。グレコ最終日、58kg級西島優勝、69kg級久保2位、76kg級伊藤2位、少年4名も入賞。これで、レスリング競技の成年、少年総合成績(天皇杯得点106点)で富山県が1位、ついに念願であった大会会長トロフィーを手にすることが出来た。これも選手達の地元国体に掛ける日々の練習のたまものだと思います。また選手をサポートし応援してくれた会社、競技関係者、県民のおかげです。「ありがとうございました。」

最後に選手諸君「ありがとう。」「苦労さまでした。」

水泳競技会場施設の管理をして

高岡総合プール

指導課長 高木 秋生

今年九月、富山県高岡総合プールにおいて夏季国体が開催された。開会式は非情にも雨天となったが心配されていたトラブルもなくプログラムの通り平穩に終了した。競技会においては、本県選手の活躍により総合優勝に大いに貢献した。選手、指導者のこれまでの努力に深く敬意を表したい。

さて、この大会のために施設の管理運営に心がけたことの一つは、水温・水質管理の徹底であった。その結果、期間中雨であったが日本記録、大会記録が多く出た。また、施設の修繕、備品の整備は県体育課に数年前から働きかけ開催前に全部整うことができた。



夏季大会・高岡総合プール

さらに仮設スタンド等の設置や演技練習・強化練習会・諸会議のため県・市国体局、水連の方々との日程調整にも気を使った。お陰で可能な限り一般開放もでき、準備から開催まで運営の円滑化につながった。

そして、環境美化に参加した二上地区の方々、当プール利用者のボランティア、高校生補助員の協力等が国体を

支えてくれた。それぞれの立場で快く取組んで頂いたことが、大会を成功裡に導いたものと思われる。ここに協力をいただいた方々に深く感謝したい。

終わりに、今後この貴重な経験を生かして競技力の向上や県民の健康づくりに寄与し「21世紀にふさわしい」施設として発展していくことを願ってやまない。

とやま国体炬火リレーに参加して

銃剣道高岡支部

事務局長 上杉 征夫

銃剣道連盟から国体炬火リレー走者に決まった時、五十五歳にして大変な役が来た。無事、完走できるのかと不安がつつた。昭和三十三年の第十三回の富山国体の時に走った国体旗リレーは、当時中学一年生、陸上部員、記念バッチには国体旗リレー参加章と記してある。



第52回 なみはや国体

リレー走者に決まってからは、銃剣道の試合と走るのでは、筋肉の動きが違う、試合では五分間動いても二十四区、九〇〇メートルを六分ぐらいで走れるかと思ひ、無事完走するにはジョギング練習、約一ヶ月の間、小

学校の外周付近を走り、雨の日は、サングラス高岡のトレーニング室に通い汗を流し、家に帰れば鎮痛外用クリームで足をマッサージする毎日でした。八月二十日、走者練習会で二十四区

の走者メンバーと初顔合わせして、皆若い人ばかりで、一段と練習しなければと思ったのは云うまでもありません。自分の区間の下見もすませた。そして走者用のユニホームが届き、本番が近づいた。ユニホームを見て二〇〇〇年国体と、昭和三十三年国体の違いにも時の流れを感じた。今回は、帽子、トレパン、トレシャツにウインドブレーカー。十三回は、自分の白ランニングシャツ、白短パン、支給されたのは、バッチとハチマキ用の聖火マークの入った手拭いでした。

十月九日(祝)本番、ある程度、走りこんで自信はあったが、不安がなかったわけでもなく、足にクリームでマッサージをしていた。

小雨降る中、高岡武道館前から出発しシメノドラック店の中継所に、完走、



今国体 銃剣道競技用具・計測係

左から 上杉、宮田、谷口氏
完走と自分に云いきかせて走り、無事着いた時は、これで大役が終ったと思ひました。終ってみれば練習の成果か、自分にはまだ余力がある様に思えた。

今回の国体では、炬火リレー走者、銃剣道競技役員、そして銃剣道少年の部は上位入賞を逃したが、成年の部は優勝と思ひ出が残る二〇〇〇年とやま国体となりました。

個人選手紹介



山田 宏美 選手

西能病院 勤務
とやま国体のサッカー
成年女子チームの一員で、
一回戦の高知県、二回戦の兵庫県戦に
出場し、きびきびとした動きで健闘し、
五位に入賞する。

本人は、現在「高岡クインズ」女子
サッカークラブに所属して週三回、夜
間志貴野中グラウンドで練習を行って
いる。小学校五年の時からサッカーを
始める。高校卒業後、大阪の専門学校に
入学、大阪の女子のクラブチームで高
いレベルの練習や試合を体験する。

本年四月に帰郷し富山市の病院勤務
の傍ら、再び高岡クインズに加入、国
体に向けての練習や試合を通して国体
出場のチャンスをつかんだようだ。

小学校から現在までサッカーが好き
でたまらなく継続してサッカー競技の
実践に努めたことが今回の国体での活
躍につながったものと考ええる。



酒匂 博臣 選手

高陵中学校 教諭

とやま国体のバスケット
ボール成年男子の部に
おいて、初の優勝を果たした富山県チ
ームの一員で東京都出身。

本県へ来た動機は、大学の先生の薦
めもあったが、平成六年のインターハイ
富山大会に、高校柔道の名門世田谷学
園高校チームの中心選手として出場し
ており、富山の印象が大変良かったこと

と、国体の開催地で地元から出場した
いという願いから富山県を選んだよう
だ。

今回の国体での優勝は、大変嬉しく
責任を果たしたことに満足しているそ
うです。これからは体力が続く限り富
山県チームのメンバーとして選手生活
を送りたいが、部活動において中学生
の育成にも携わり、本県のバスケット
ボール競技のレベルアップに尽くした
いという抱負をもっており、将来指導



竹沢 浩司 選手

日本大学 1年

とやま国体の自転車競
技成年男子1kmタイムト
ライアル決勝において非常にレベルの
高いレース展開の中で五位に入賞する。

国吉中学校の恩師の助言により、一
流の選手になりたいと言う大きな希望
を持ち氷見高校に進学し自転車競技を
始める。持ち前の体力と強い意志によ
りめきめき力をつけ、高校時代にイン
ターハイや熊本国体に出場し有望選手
の片鱗をうかがわせ、とやま国体の地
元選手として期待される。

高校卒業後、自転車競技強豪校であ
る日本大学に進学し、レベルの高い選
手の中でもまれて更に実力をつけ、今
年九月に行われたインターカレの1kmタイ
ムトライアルで優勝を果たしている。
本人はまだ大学一年生であり、今や
全国トップクラスの力を備えつつある
ようだ。まさに本市の生んだ自転車競
技者の期待のホープである。

「2000年とやま国体」 夏季大会 高岡市関係入賞者成績一覧

- 大石 隆文 (高岡市立大) 水泳(競泳)成年男子
100m背泳ぎ 2位 56秒84
- 松下 幸広 (富山県体育協会) 水泳(競泳)成年男子
200mリレー 優勝 1分31秒70日本新
(石田、上田、松下、伊藤)
- 森 健 (富山県体育協会) 水泳(競泳)成年男子
200m個人メドレー 4位 2分7秒48
- 高森 聡 (校野中学校3年生) 水泳(競泳)少年男子B
400mメドレーリレー 7位 4分2秒62
(塚原、高森、荒瀬、島田)
- 難波 留美 (富山県体育協会) 水泳(競泳)成年女子
400mメドレーリレー 2位 4分21秒63
(小野、難波、土肥、野尻)
- 野尻奈央子 (日本体育大学3年生) 水泳(競泳)成年女子
100m平泳ぎ 8位 1分15秒83
- 坂田 芳寛 (ミキハウス高岡) 水泳(飛込)成年男子
板飛び込み 優勝 高飛び込み 8位
- 増山 香織 (富山県商業高校3年生) 水泳(飛込)少年女子
板飛び込み 7位 高飛び込み 3位
- 大石隆太郎 (日本海マリン) ヨット成年男子
ウインドサーフィン級 3位
- 小菅 寧子 (日本海マリン) ヨット成年女子
ウインドサーフィン級 優勝
- 加賀谷菜美子 (富山県高校3年生) ヨット少年女子
シーホッパー級スモールリグ 優勝
- 北本 忍 (富山県体育協会)
- 伊東 章 (丸喜産業) 優勝
ゴルフ成年男子
団体 優勝 (新本、島川、中共、伊東)



競泳成年男子100m背泳ぎ
大石・上田両選手

「2000年とやま国体」 秋季大会 高岡市関係入賞者成績一覧

- 谷井 孝行 (高岡市立高校3年) 陸上少年男子
5000m競歩 優勝 20分39秒52
- 浦島 智美 (早稲田大学3年) サッカー成年女子
山田 宏美 (西能病院)
- 柳川 祐吉 (北陸電力) バレーボール9人制成年男子
団体 優勝
- 劉 江嵐 (高岡龍谷高校3年) バレーボール少年女子
市川 恵 (高岡龍谷高校3年)
- 中川 由紀 (高岡商業高校3年)
団体 4位
- 林 正隆 (日本海産商) バスケットボール成年男子
堀田 敦嗣 (北越)
- 村上 哲也 (ヨシエスポーツ)
- 小川 修平 (北陸電力)
- 酒匂 博臣 (高陵中学校)
団体 優勝
- 戸井田昌教 (宮越工芸) レスリング成年男子
フリースタイル 54kg級 優勝
- 西島 隆 (高岡総合) レスリング成年男子
グレコローマンスタイル 58kg級 優勝
- 佐藤 将章 (宮越工芸) レスリング成年男子
フリースタイル 63kg級 3位
- 久保 雅紀 (宮越工芸) レスリング成年男子
グレコローマンスタイル 69kg級 2位
- 伊藤 光伸 (宮越工芸) レスリング成年男子
グレコローマンスタイル 76kg級 2位
- 高橋 善孝 (宮越工芸) レスリング成年男子
フリースタイル 85kg級 2位
- 瀬川 智宏 (高岡商業高校3年) レスリング少年男子
フリースタイル 58kg級 3位

- 吉川 将太郎(高岡商業高校3年)／レスリング少年男子
グレコローマンスタイル76kg級 3位
- 北本 友明(高岡商業高校3年)／レスリング少年男子
フリースタイル54kg級 2位
- 浅井友可里、水野 央子、前山真由実、
石山亜希子、大前 典子、新畑 晴恵、
山崎 理恵、佐藤 遊香、新屋 優子、
本間 智美、中塚 充子、鏡森 広子
(立山アルミウム工業)／ハンドボール成年女子
団体 2位
- 八塚 敏弘(高岡商業高校3年)／ハンドボール少年男子
大房 哲也(高岡向陵高校3年)
- 草原 智也(高岡向陵高校3年)
- 早川 裕介(高岡向陵高校3年)
- 岡部 英人(高岡養護学校)／自転車成年男子
4000m団体追い抜き 3位
4分40秒484(竹沢、中村、岡部、鈴木)
- 竹沢 浩司(日本大学1年)／自転車成年男子
4000m団体追い抜き 3位
1000mタイムトライアル 5位 1分8秒579
- 山森 誠二(高岡商業高校)／ソフトテニス成年男子
小峯 秋二(西部体育センター)
- 宮崎 慎吾(西部体育センター)
- 森下 宏美、向 博美、沼崎 優子、
裏地 美香、安藤 桂子、佐野 都子
(タカギセイコー)／ソフトテニス成年女子
団体 2位
- 上野 大輔(高岡龍谷高校3年)／卓球少年男子
馮 殿宇(高岡龍谷高校2年)
- 祖泉 秀樹(西日本電信電話)／軟式野球一般B
土尾 英久(日本海ガス)

- 団体 5位
- 浜谷 圭一(高岡市水道局)／軟式野球成年
嘉信 和昭(高岡市水道局)
- 庄司 幸寛(富山中野高校1年)／馬術少年男子
スピードアンドハンドデインス 優勝
二段階障害飛越 7位リレー 7位
- 石井 一行(塩谷建設)／柔道成年男子
高森 啓吾(総合警備保障)
- 磯崎 祐子(塩谷建設)／柔道成年女子
佐野奈津子(塩谷建設)
- 室谷 美紀(塩谷建設)
- 今井 紀夫(下ナミ運輸)／バドミントン成年男子
谷内 貴昭(トナミ運輸)
- 大山 宏司(トナミ運輸)
- 山本 静香(三協アルミウム工業)／バドミントン成年女子
閻 敏娜(三協アルミウム工業)
- 山田 青子(三協アルミウム工業)
- 川口 佳介(富岡工業高校3年)／バドミントン少年男子
劉 志遠(高岡工業高校2年)
- 米 隆夫(高岡工業高校3年)
- 田村 美幸(高岡西高校3年)／バドミントン少年女子
今井 幸代(高岡西高校2年)



柔道成年女子 佐野選手

- 劉 晶(高岡龍谷高校1年)
- 団体 2位
- 布目 光男(農業改良普及センター)／弓道成年男子
団体近の 3位(高岡、片井、布目)
- 団体近の 8位(高岡、片井、布目)
- 斉藤 祝子(弓道連盟)／弓道成年女子
大林登志美(富山ろう学校)
- 団体近の 7位(斉藤、久保、大林)
- 大門 進(富山県警察)／剣道成年男子
田中 孝則(高岡工業高校)
- 下田 耕輝(高岡工業高校3年)／剣道少年男子
小西 健太(高岡工業高校3年)
- 浅野 隆一(高岡工業高校3年)
- 石田 真也(高岡工業高校3年)
- 古川 翔太(高岡工業高校2年)
- 太田 佳那(高岡工業高校3年)／剣道少年女子
菊 千夏(高岡工業高校2年)
- 大迫 綾(高岡工業高校2年)
- 土居 達也(高岡市消防本部)／ラケットボール成年男子
細川 浩永(岩崎建設)
- 金森 博(富山県警察)／山岳成年男子
山田 智敏(富山県警察)
- 登はん 7位 踏査 4位(金森、黒川、山田)
- 堂谷内智子(高岡市社会福祉協議会)／山岳成年女子
登はん 3位 縦走 4位
- 踏査 8位(堂谷内、金子、長草)
- 布江 剛士(高岡向陵高校3年)／山岳少年男子
山本 和樹(高岡向陵高校2年)
- 村刺 厚介(高岡向陵高校3年)
- 縦走 優勝 踏査 優勝

編集後記

今回は、とやま国体の成績と合わせ育成強化の歩みやとやま国体を終えての感想などを特集してみました。

本協会といたしましては、ジュニア選手層を中心とした継続的な選手の育成策を展開していく所存です。何卒よろしく願います。

- 平成13年度前期の主な行事
- 4月27日 理事会
4月29日 第47回前田杯ソフトテニス・バレーボール大会(中学の部)
- 5月12日 評議員会
7月7日 第54回 高岡市民総合体育大会(基準日)
7月28日 第54回富山県民体育大会(黒部市)

- 内山知香子(高岡商業高校3年)／山岳少年女子
大森菜津子(高岡商業高校3年)
高田 真美(高岡商業高校1年)
- 縦走 優勝 踏査 優勝
- 渡辺 誠(陸上自衛隊)／銃剣道成年男子
団体 優勝(渡辺、浦、大脇)
- 吐合 明文(高岡向陵高校3年)／相撲少年男子
大島 正直(高岡向陵高校3年)
鈴木 悦朗(高岡向陵高校1年)
- 犀藤 和憲(高岡向陵高校)／相撲成年B
団体 3位